



NT広島(2026)に参加してみた



音楽研究所

2026年3月3日 18:15

...

広島駅の地下広場で開催された「NT広島」に「ミュージック・トレイン」という作品の展示と自動演奏ロボットによるステージパフォーマンスをした時の記録です。

NT広島について



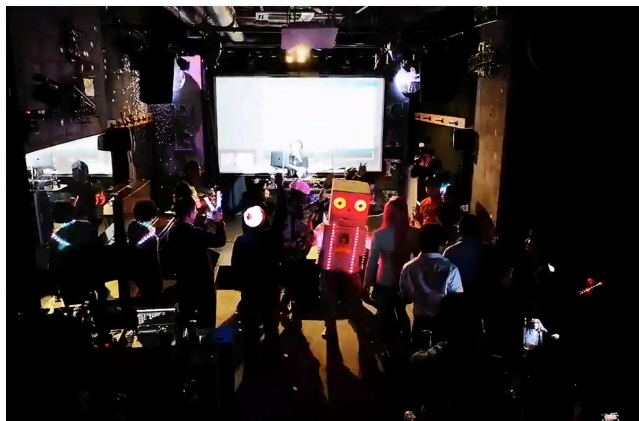
NT広島(2019)ギャル電

NT広島は2019年2月に第一回目が開催され、そのあと途切れていましたが、2026年3月に第二回目が開催されました。会場は広島駅の地下広場です。創設者の方が広島県庁の仕事をしているときに、その関係で企画されたようで、第一回目はNT広島とNT広島mini(別会場)の2日間開催で、イベントとしての規模も大きかったように思います。



NT広島mini(2019)でロボットを展示

夜にはギークナイトというギャル電も出演していたクラブイベントのようなものもあり、私は着ぐるみで参加した記憶があります。そのあと、新型コロナがあったり、創設者の方が転職されたりで途絶えてしまったようです。



NT広島(2019)ギークナイト

第2回目の今回は、3月1日（日）の1日のみ開催でした。
運営は教育関係の方が加わって引き継ぐなど、色々と変化があったようです。

広島駅地下広場について

NT金沢も金沢駅の地下広場で開催されますが、雰囲気的にはかなり似ている感じで、広さは半分くらいでしょうか。ただ、金沢の地下広場は駅のはずれといった感じですが、こちらの地下広場は、駅に向かう人がけっこう通ります。

日曜日のための1日開催となっているのは、会場予約の都合らしく、めぼしい土曜日は1年先まで埋まっているということでした。ちなみに2027年の開催は2月28日（日）で会場は同じ広島駅地下広場ということでした。ただ、広島駅では最近、大掛かりな工事が行われていて、今後、地下広場周辺の人の流れが変わる可能性があるということでした。



NT広島(2026) ほぼ会場全体が写っていると思います

参加準備

参加申込

開催日は3月1日です。出展は無料です。募集はwikiの参加フォームに入力する形で、審査はなく、早いもの勝ちです。11月下旬に募集開始で、1月末にみたときには30程ある枠がすべて埋まっています。

ステージの募集は、ブース募集の少し後だったと思います。内容と必要な時間を申請する形で、審査はたぶんないんだと思います。ライトニングトークの枠は持ち時間が少ないです。

NTOOのステージは、内容に制約がないので、実際に何をやってもかまわないように感じます。まあ、普通にスライドを用意してプレゼンテーションする人がほとんどですが、私は今回、ロボットに伴奏をさせて自らが歌うということをしました。それほど上手ではありませんし、ひと目も気になるので、他のイベントでするには、かなり敷居が高い内容です。今まではマレーシアのイベントで2回ほどやったことがあるだけです。日本の歌を日本語で歌うので、観客には上手いのか下手なのかわからない状況です。今回のように日本国内でするには、それなりに勇気がいるのかも。ただ、ほかの発表者をもみても羞恥心を捨てたっぽい人が見られました。

ちなみに、この時期はメーカー系のイベントが多く、同日に「メーカーズ長岡まつり」が新潟で開催されています。

移動の計画（ロボットのいるお好み焼き屋さん）

ミュージック・トレインの展示なのでスーツケース1つに収まるのですが、ロボットの着ぐるみを持っていきたくかったので車で移動することにしました。また、あとからロボットのパフォーマンスでステージにも申し込んだので、荷物は多めです。

以前から目をつけていたロボットが配膳してくれるお好み焼きやさんが岡山にあるので、行きにそこに寄っていくことにしました。NT広島は会場が1日しかとれなかったらしく、日曜日だけの開催なので、土曜日を移動にあてるとすると時間的にも余裕があります。

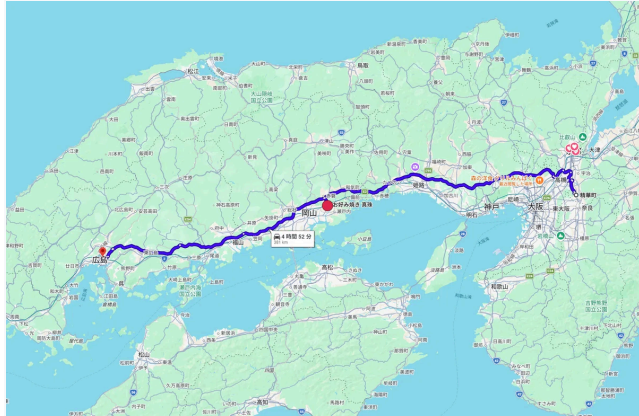
計画をたてていて気づいたんですが、岡山は京都からみると広島の手前、九州側にあると思ってたんですが、広島より手前だったんですね。（私の頭の中の日本地理はその程度。）高速を途中で降りてまた戻れば、それほどロスのない寄り道です。

ホテルの予約

予約したのは1月末でしたが、1泊1万円ほどで広島駅ちかくのアパホテルが取れました。行ってから気づきましたが2019年の時と同じ宿です。

イベント前日

主に山陽自動車道で、岡山を經由して広島へ移動しました。



岡山を經由して広島へ

レトロなロボットがいるお好み焼き屋さん



お好み焼き「真珠」

岡山でいったん高速を降りて、ロボットのいるお好み焼き屋さんへ。よく国道にお店が固まっているエリアがあると思いますが、そんな感じの場所で、建物はよくある赤い三角屋根のレストラン風です。（昔はドライブインだったのかも。）



R2D2風のロボットが色々と運んでくれる

午後4時くらいに到着しました。時間が半端なためか、他にお客さんはいませんでした。ロボットの走行距離が長くなるように一番奥に座りました。店内には店主さんらしきおばあさんが入り口付近（レジ?）に座っているだけで、私と店主さんがそれぞれ店の両端あたりに位置する感じになりました。

動画

お好み焼き屋さんのロボット

突然、奥の扉が開き、お水とお箸、コテなどをトレイに乗せたロボットが登場します。前触れがないので登場シーンの動画を撮り損ねしました。こちらがトレイの上のものを取り終わると帰っていきましたが、どのようにして戻るタイミングを計っているのか不思議です。トレイに何かセンサーがついているのか、それとも入り口にいる店主さんが見ている何かのボタンを押すのか。。。単に一定時間経過すると戻るのかもしれませんが、それにしてもいい感じのタイミングで帰っていきます。しばらくすると再度、ロボットが登場しました。今度はトレイに、具材の入ったカップをの乗せています。



関西ではお好み焼きは格子状に切ります

どうやら、受け取ったカップの中を鉄板に広げて自分で焼くスタイルのようです。入り口に「関西風」と書かれているのは、そういう意味もあるのかもしれませんが。広島風のようにソバも入っていません。（関西ではソバのはいったものは「モダン焼き」と呼んでいます。）いざ食べようとして、小皿が無いのに気づきました。ロボットが持ってきた時に取り忘れたのか、そ

れとも元々、トレイに乗っていなかったのか。。。とにかく鉄板から直接は食べづらいので、店主さんに、小皿を頼みました。店主さんは高齢のためか足が悪そうですし、奥の厨房には行っていったので、扉が開いてロボットが登場する瞬間を撮影しようとかまえました。結果、店主さんが自分で私のところまで小皿をもってきました。思わず「おまえがもってくるんかい！」という思いが口から出てしまいました。（実際に発したのはもう少しやわらかい言葉です。）ロボットが登場するのは最初のお水、お箸と、2回目の具材の入ったカップだけと決まっているのでしょうか。片付けのときも使っているのかもしれませんが、見ていないので不明です。

お皿をもってきた店主さんに、焼くのが上手いねと褒められるなどしました。ご飯と一緒に好み焼きを食べることまではしませんが、関西人なのでやっぱり好み焼きは好きです。

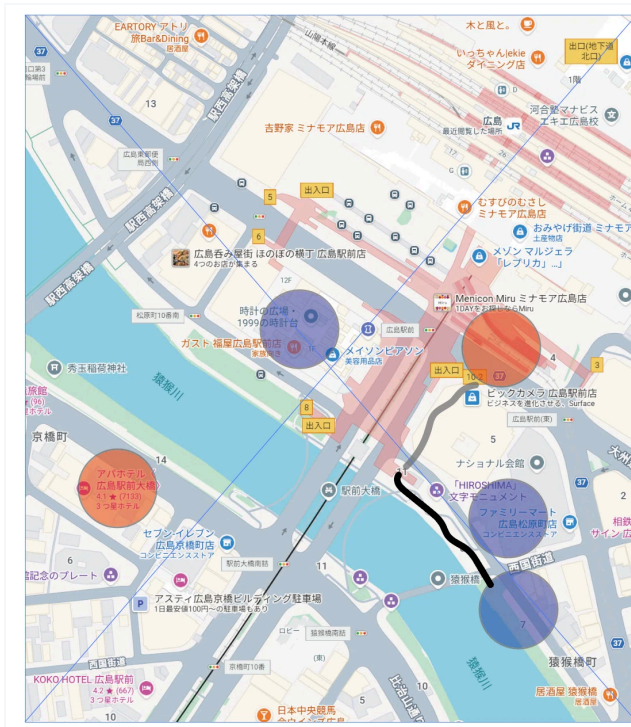
アパホテルと会場下調べ



会場まで徒歩5分ぐらいのアパホテルの立体駐車場に車を止め、搬入経路の下調べをしました。荷物が多いのと、他の会場のように、車を建物に横づけして搬入するような経路がないため、下調べは必須です。

アパの駐車場は翌朝見たときに満車になっていましたから、早い時間でないと取れない可能性があります。料金は一泊1300円×2で、途中の出し入れ自由ですが、22時から翌朝7時までは職員がいません。

最初は、最悪、アパの駐車場から手持ちで何往復かすれば搬入は可能という印象でしたが、よく考えるとやっぱり無理という結論に。



ホテルと会場（赤） 駐車場（青）

会場近くの駐車場は、エールエールA館の立体駐車場、BIG FRONTの駐車場、河川敷の市営駐車場などです。BIG FRONTは地下にも駐車場（駐輪場？）があるようでしたが、駅の地下とはつながっていません。また、出入り口は2か所で、地下広場の出入り口とは離れています。



会場からすぐのセリア

あと、ウロウロしている間に、セリアを発見しました。（イベントでは事前に最寄りの100均ショップをみつけておくことにしています。）



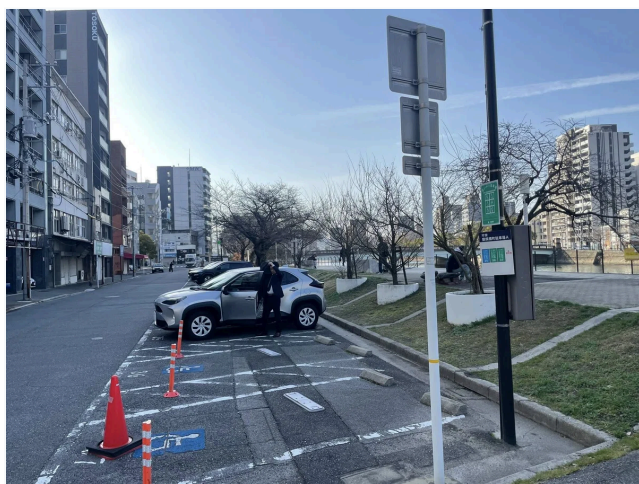
ホテル川島（左）とBIG FRONTの駐車場（右）

会場のすぐ横に、「ホテル川島」というホテルの出入り口（エレベーター）があったので、このホテルだと部屋から直接搬入するようなことが可能かもしれないと思うなどしました。

イベント当日

搬入(スーツケースX3 電子ピアノ MIDIギター アクリル板 その他)

受付9時からですが、8時ごろから動き始めました。結局、立体駐車場やエレベーターを使用する駐車場は無理ということで、アパの駐車場から河川敷の駐車場に車を移動し、そこから搬入することにしました。8時半くらいに停めたときは、けっこう空いてましたが、10時くらいに見たときは、すでに埋まっていました。



河川敷の市営駐車場

会場までの時間を計ってみましたが、荷物無しの移動で3分ほどでした。途中、エレベーターかエスカレーターを使用して地下にあります。



地下へのエスカレーターとエレベーター

上の写真の中央あたり、「地下道」と書かれているところが、エスカレーターの入り口で、エレベーターはその左側に設置されています。



地下へのエレベーター（左）

エスカレーターやエレベーターを降りると、そこはもう地下広場です。



駅前大橋東側エレベーター

地下広場ではもうテーブルなどの設置作業が始まっていました。



地下広場

ミュージック・トレインは電子ピアノ、電子ドラム、MIDIギターとそれぞれのスタンド、そして線路と車両の鉄道模型、Arduinoなどのコントローラー類とLEDのイルミネーション、ノートパソコン1台から構成されています。

自動演奏ロボットはロボット4体（1体は予備）とイルミネーションのついたアクリルの展示台、ミュージックベルとノートパソコン1台から構成されています。

これらをスーツケースに梱包できるように、作品の制作段階から分解可能な構造にして、現場で組み立てるようにしています。ケースなども容積と重量が最小になるように、ジャストサイズのものを木やスチレンボードで制作しています。梱包や組み立てには、ビニールテープが欠かせません。全てを3つのスーツケースとバッグやプラケースなどに詰め込んでいます。

ブースの設営（すぐ横にビックカメラがあるのは便利）

事前に配置マップを見れていなかったのですが、2区画になっていました。テーブルも180cm×60cmと大きいやつです。もともとミュージック・トレインだけを展示し、ステージで自動演奏ロボットをするつもりでしたが、テーブル1つずつを使ってそれぞれを設置し、ステージのある時間にロボットのテーブルをそのまま持っていくことにしました。



地下広場の端にビックカメラの入り口があります

途中、Arduino用のケーブル(USB-B)が見当たらず、結局、探すより早いだろうということで、会場前のビックカメラに買いにいきました。10時開店です。イベントの一般入場は10時からでしたが、ミュージック・トレインの設置が10時過ぎ、自動演奏ロボットの設置が11時頃に完了しました。

展示ブース



音楽研究所のブース

ミュージック・トレインと自動演奏ロボットをそれぞれテーブルに配置しています。テーブルクロスを1つしか持ってこなかったため、ロボットのテーブルには黒いアクリル板を乗せてあります。普段は、テーブル下の荷物を隠す工夫をしますが、今回はその余裕がありませんでした。正面から見ると雑然とした様子がうかがえますね。



ミュージック・トレイン

ミュージック・トレインは電子ピアノを演奏するとそれにあわせて鉄道模型の列車が走るという作品です。今回は電子ピアノと電子ドラム、MIDIギターを持ってきていましたが、結局ギターは出ませんでした。

線路の背後に、ダイソーの黒いパーティションを設置しています。そこに作品やシステム構成などを説明するパネルを貼りつけています。

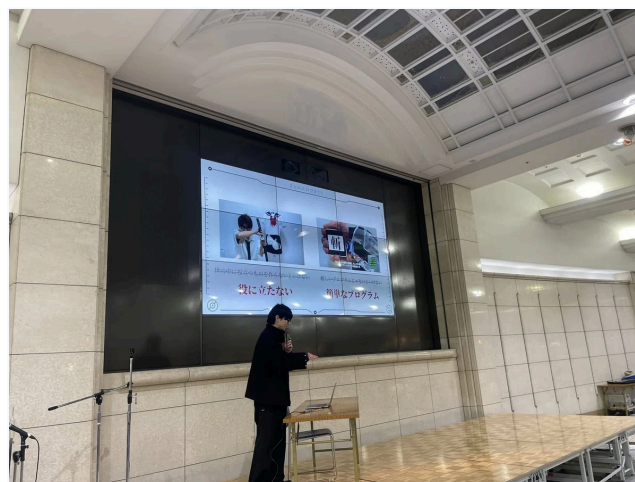
ステージパフォーマンス

地下広場には、大型の備え付けモニターがあります。前に観客席が設置されて、ライトニングトーク、プレゼンテーションなどが行われました。私は13時から自動演奏ロボットを使用したパフォーマンスを行いました。直前にロボット1体が壊れましたが、予備を1体持ってきていたので、そのまま取り換えることができました。飛行機や電車だとそうはいかないのですが、車だと予備をたくさん持ってこれます。必要になるかどうか分からなくても修理道具や予備をとりあえず車に積んでおきます。不思議な事に、なぜか、たいてい必要になります。ドライバーやネジ、ペンチなどは必ず持っていきますが、半田ごては持っていかないこともあります。あと、針金も役に立つことがあります。木工ボンド（←実質、なんでも接着でき、思わぬところで役立ったりするのですが、乾燥に半日ぐらい必要で1日開催のイベントではあまり意味ないかも）とビニールテープは万能で必須アイテムです。ステージのスケジュールは余裕をもって組んであるようで、前のライトニングトークが終わったあと隙間が30分あり、その間にブースに設置していたテーブルを3人がかりでステージ上に移動しました。



ロボットの音楽ショー（写真はSNSより勝手にいただきました）

ロボットがクラシック曲を演奏したり、私がロボットの伴奏でポップスを歌うというものでしたが、見てくれていた人もそこそこいました。（10人くらい？）持ち時間は30分でしたが、その場で曲数を調節し、結局、3分前に終わりました。



変なものを作っている人のプレゼンテーション

刀でブラジャーだけ切って落とす装置とか、声の波形で作ったおしゃぶりとか、そのような作品を作っている方の発表もありました。ニコニコ超会議に出展されるそうです。（私も今年の超会議に出展

することになっています。)

来場者について

通りすがりの人やわざわざ見に来てくれた人など、さまざまです。普通に駅地下なので、家族連れの人もけっこう通ります。NT金沢の場合も同じですが、駅地下の会場だと海外からの観光客風の来場者もけっこうあります。



海外からの観光客らしき人

あと、中学生のグループ（クラブ活動？）が何組か出展していたので、制服を着た来場者（出展者？）もブースに来てくれました。



中学生のステージ発表

着ぐるみ登場



隣のブースのお子さんと

自動演奏のロボットと似たデザインの着ぐるみで会場をウロウロするということをしています。朝の搬入時に一緒に持ち込むのは大変なので、少し落ち着いてから、車に取りに行くことが多いです。またロボットの着ぐるみは白色なので、車に戻ったときに、服や靴を白いものに着替えます。手袋はヘボコンで優勝（なのか？）したときにもらったMaker Faireの金の手袋です。



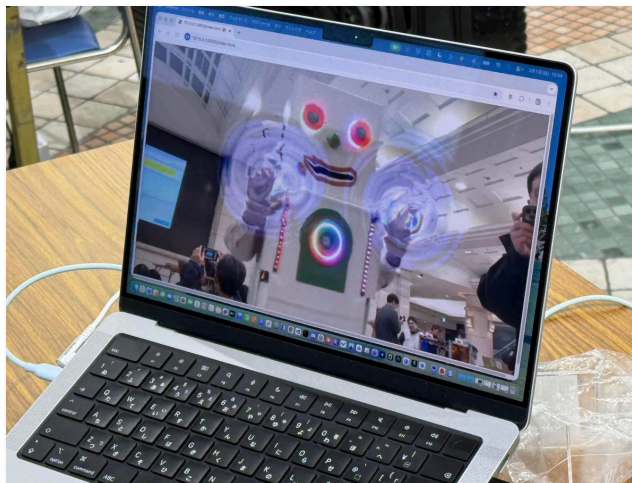
着ぐるみを入り口付近に設置

着ぐるみは、着ていないときはブースの横や角のところに置いておくことが多いのですが、邪魔になりそうだったので、少し離れた会場の入り口（？）のところに置きました。通りがかりの人たちへの客寄せにもなります。



疲れたら椅子で休憩します（写真はSNSから勝手にいただきました）

着ぐるみを着て会場内をウロウロしていると、他の人の作品で、顔認識や物体認識をする作品を見かけることがあります。ロボットの顔は、たいてい顔と認識してもらえませんし、全体的にも人として認識してもらえないことが多いのですが、今回、ちゃんと手の動きを認識してくれる作品がありました。



media pipeを使用した作品（写真はSNSから勝手にいただきました）

撤収



集合写真

4時45分に終了の案内があり、記念撮影したあとイベントが終了しました。集合写真には、ロボットの着ぐるみで参加しました。

駐車場との間を何回か往復し、1時間ほどで展示物を撤収しました。撤収自体はいつもそれほど時間がかからないのですが、駐車場との往復に時間をとられた感じです。慣れてくるとエレベーターよりもエスカレーターのほうが早くて楽でした。会場を借りている関係でしょうか、どのイベントでも撤収は1時間ぐらいでという短めの設定のものが多いです。

懇親会



さかなや道場

駅の反対側、北口のレストラン街にある「さかなや道場」というお店で懇親会がありました。参加費5000円です。いったんホテルに車を置きに戻り、地下広場に戻ると懇親会に参加するであろう人たちが溜まっていたので合流させてもらって、会場まで移動しました。広島駅を通り抜ける感じですが、途中、新しくなった路面電車の発着場所があり、翌日、発着の様子を見に行こうと思っていたのですが、忘れてしまいました。



NT広島の創設者さん

参加者25名でした。NT広島の創設者さんの前の席だったので、色々とお話を聞きました。イベントが終わり、その安堵と充実感が伝わってきました。



広島郷土料理の何か

魚メインですが、肉と野菜のお鍋もできました。



新しく運営を引き継がれた方（中学校の先生？）

最後に運営の方から来年の開催場所と開催日の案内がありました。同じ地下広場で2月28日に予約を入れたということでした。



店内にいたロボット

ホテルに帰ったあと、せっかくなので広島風お好み焼きを食べにでかけました。



ホテル近くのビルの2Fにあるお好み焼き屋さん

入り口にメニューが無かったので、価格帯が分からずに入ったのですが、ホテルの1Fの居酒屋風のお好み焼き屋さんより安めでした。



放射状に切られたお好み焼き

ここではお店の人が焼いたものを出してくれましたが、格子状ではなくピザのように放射状に切られてしました。広島風なのでソバが入っています。

イベント翌日

尾道ラーメン

来るときにサービスエリアで尾道ラーメンの店を見かけたので、広島にいる間に尾道ラーメンを食べようと思っていました。

ネットで調べると「丸ぼし」という店が有名らしく、広島駅にも支店があることがわかりました。広島駅店は10時開店、尾道本店は10時半開店です。尾道までは1時間ちょっと。尾道は通り道なので、本店に行ったほうが家に早く帰れそうです。



尾道ラーメンの「丸ぼし」

10時過ぎにお店に到着しました。6台ほど停めれる駐車場が横にありますが、構造上、お客さんの車は2台までしか停められないのではないかと思います。他に人はおらず、まだお店はあいてないので、駐車場に車を停めて待っていたら、開店までに10数名の列ができていました。



ラーメンと唐揚げのセット

券売機で定番っぼいのを買って食べました。港町なので魚介スープなんですね。食べ終わった後、特に観光もせずにそのまま帰りました。（疲れて腰が痛かった。）

中国新聞

中国新聞のデジタル版に、NT広島の記事が掲載され、ミュージック・トレインの写真も掲載されました。

[自作ロボットの展示会、7年ぶりに開催 広島市南区で | 中国新聞デジタル](#)



NT広島の記事

写真ではまだ白い服を着ていないので、午前中に撮影されたものではないかと思います。私はロボットのブースの組み立て中みたいなので、11時ごろかなあ。

写真タイトルが「電子ピアノを弾いて鉄道模型を走らせる来場者たち」となっていましたが、「鉄道模型」と「電子ピアノ」という不思議な組み合わせは、記事にすると確かにキャッチーなのかも。ミュージック・トレインはLED満載の自動演奏ロボットに比べて派手さに欠けると思っていたので、少し自信がついたかも。